

あおぞら

江戸川区立小松川中学校
第学年
令和7年10月3日
第21号

🏠 週の予定

10月6日～10月10日

月日	曜	で き ご と	1	2	3	4	給	5	6
10 / 6	月	学活：職業新聞清書	学	②	③	④	○	⑤	⑥
10 / 7	火	文化祭舞台 リハーサル 45分授業	①	②	③	④	○	⑤	⑥
10 / 8	水	職員会議 合唱祭1学年リハーサル(体育館)	リ ハ	リ ハ	③	④	○	⑤	／
10 / 9	木		①	②	③	④	○	⑤	⑥
10 / 10	金	朝学習(よむ YOMU) 専門委員会	①	②	③	④	○	⑤	専



.....✕・き.....り.....と.....り.....✕.....

《ひとことNo. 21》1年()組() ()

掲載可否～() 掲載をご希望されない場合は ✕ をご記入ください。

教えることの楽しさを教えてくれた子供たち

私の教員生活の始まりは盲学校でした。当時東京都の中学校の英語教員として採用が決まり、中学校から連絡が来るのを楽しみにしていたところ、はじめに連絡が来たのは、盲学校でした。「盲学校ってどんな学校？」と勉強不足だった私は、不安を感じながら面接に行きました。面接では、校長先生から「盲学校は、視覚に障害のある子供たちのための学校であること、そして、この学校で一人一人の子供たちのために頑張ることは、あなたの教員生活の財産になります。」とお話をいただきました。私は、初めて聞く話に少し不安を感じながらも、この学校で頑張っていこうと決意しました。

盲学校では、それまでの人生で経験しなかったたくさんのことを学びました。視覚に障害があっても、みなさんと同じように中学校で学ぶ内容を点字や拡大教科書を使って学んでいる生徒や、視覚と他の障害を併せ持つ生徒もたくさんいること、人間は80%以上の情報を視覚から得ているため、それを補うためにより多くのことを教える必要があることなど。白い杖を持ち、一人で通学するための練習を早朝毎日一緒にしたことや、アイマスクをして、ゴールボールやフロアバレーボールというスポーツを生徒と一緒に練習したことも良い思い出です。そして、たくさんの先輩の先生方が手取り足取り愛情をもって生徒に接している姿に強く心を打たれました。

耳の良い盲学校の生徒に英語を教えることは、楽しいこともたくさんありましたが、点字で英語の読み書きを教えたり、一人ひとり障害の異なる生徒にわかりやすい授業をすることは難しく、毎日遅くまで教材研究をしたり、先輩に教えてもらったりしていました。はじめはうまくいかないことばかりでしたが、ある日しっかりと一人一人に合った教材と教え方ができたときに、「先生わかった!うれしい!できた!」と飛び跳ねて真すぐに喜びを伝えてくれた生徒の笑顔に涙が出ました。今でもその笑顔は忘れられません。それ以来、生徒の笑顔を見るために毎日頑張ってくることができたと思います。盲学校の子供たちと生活したかけがえのない9年間は私の誇りです。その後、足立区や江戸川区の中学校へ異動し、たくさんの忘れられない出会いを重ねてきましたが、私の教師としての原点は盲学校にあると思います。

1年生のみなさんが入学して半年、これまでもたくさんの思い出ができましたが、みなさんにとっても私にとっても今までで一番思い出に残る3年間になるように、また、毎日みなさんの笑顔が見られるように頑張っていきます。たくさん楽しいことを一緒にやり、うれしいことはみんなでお祝いし、悲しいこと、苦しいことは励まし合えるFamilyの絆をみんなで作っていきましょう。

①④●○●○●●●○●

②⑤○●●○●●●○●

③⑥○●○●○●○●○

あ　い　う　え　お

選挙管理委員

選挙の準備や運営を行い、生徒会選挙をしっかりと支えてくれました。

1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組

文化祭に向けて頑張っています！

	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組
実 行 委 員						
指揮者						
伴奏者						



👁👁 保護者の皆様毎回のひとこと返信ご協力ありがとうございます！